

－ 文化の香り高く将来に躍動するまち －

小鹿野町

20th
Anniversary



小鹿野町合併 20 周年記念式典

日時 令和7年9月14日（日）13時30分～

会場 小鹿野文化センター ホール

合併20周年を迎えて



小鹿野町長 森 真太郎

小鹿野町と両神村の合併20周年を迎えるにあたり、町民の皆様をはじめ、町内の企業、各種団体及び国・県等の関係機関等、これまでご支援・ご協力をいただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

平成17年10月1日、小鹿野町と両神村という、異なる歴史と文化を持つ二つの地域が、お互いの伝統や誇りを尊重しながら、新生「小鹿野町」として手を取り合い、未来を共に創るという大きな目標に向かって歩み始めました。

合併以降、町有林を活用した役場庁舎の整備、町立小鹿野中央病院を中核とした保健・医療・福祉の緊密な連携による地域包括ケアシステムの充実、秩父地域一市四町の水道事業統合によるインフラの安定と効率化の実現、中学校・小学校の統合、公立では県内初となる幼保連携型こども園の開設など、暮らしや学びの基盤整備を着実に進めてまいりました。

「花と歌舞伎と名水のまち」として、節分草、花菖蒲、ダリア、尾ノ内氷柱と、四季折々の景観が多くの人々を魅了し、平成の名水百選「毘沙門水」、日本の滝百選「丸神の滝」の清らかな水は、地域の生活や観光にも貢献しています。日本百名山「両神山」や「二子山」を生かした山岳クライミング、オートバイによる町おこし事業、歌舞伎による町おこし事業は、町のもつ魅力を全国に広め、地域の誇りを再発見させてくれています。

国民宿舎両神荘、道の駅両神温泉薬師の湯のリニューアルに加え、これらの運営主体となる「株式会社地域商社おがの」は、地域経済を支える存在として成長を始めています。

そして本年は、小鹿野町は「第75回全国植樹祭」の開催地という大変光栄な機会にも恵まれました。

私たちが目指すのは、単なる「存続」ではありません。人口減少や社会構造の変化といった課題に向き合いながらも、持続可能な町として積極的にチャレンジし、総合振興計画に掲げる「文化の香り高く将来に躍動するまち」を目指して、これからも誇りと魅力に満ちた町づくりを進めてまいります。

新生「小鹿野町」は今20歳。人に例えれば、自立に向けて社会に踏み出す年齢であり、同時に、まだまだ若く、可能性溢れる年代でもあります。この節目を新たな門出として、町民一人ひとりが「この町の主人公」であるという自覚とタウンプライドを胸に、共に希望ある未来を築いてまいりましょう。

今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

式 次 第

第一部 アトラクション

■ 小鹿野ウインドアンサンブル

－ 休 憩 －

第二部 記念式典

■ 開式の辞

■ 国歌斉唱

■ 町長式辞

■ 町議会議長あいさつ

■ 来賓祝辞

■ 表 彰

■ 表彰者代表謝辞

■ 閉式の辞

小鹿野町合併 20 周年

町議会議員の職にあること 8 年以上の者

小鹿野町議会議員

皆本 富男 強矢 好光 加藤 喜一

条例に基づく各種委員会委員の職にあること 8 年以上の者

農業委員会委員

黒沢 裕幸 吉田 恭寛 田嶋 敏男 加藤 功一 高橋 克子

農地利用最適化推進委員

強矢 福司 黒澤 八重子

都市計画審議会委員

田中 弘伶 黒沢 裕幸

行政不服審査委員

石井 智章

公平委員会委員

岩寄 憲一

介護保険運営協議会委員

横田 幸弘 原 靖 嶋田 出

国民健康保険運営協議会委員

横田 幸弘 原 靖 高田 直樹

民生委員・児童委員協議会委員

黒澤 茂雄 小菅 美枝子 近藤 ちよ子 坂本 憲子 新井 幸子
丸山 シズエ

社会教育委員会委員

吉田 健一 渡部 幸夫 堀口 武治 豊田 明生

文化財保護審議会委員会委員

田中 徳好 山中 正彦

スポーツ推進委員

原田 和則 茂木 延夫 山下 のぞみ 原島 範明 槇田 宏幸
山崎 勉

小鹿野町合併 20 周年記念表彰基準

- (1) 町議会議員の職にあること 8 年以上の者
- (2) 町長の職にあること 8 年以上の者
- (3) 副町長又は教育長の職にあること 8 年以上の者
- (4) 条例に基づく各種委員会委員の職にあること 8 年以上の者
- (5) 区長の職にあること 8 年以上の者
- (6) 消防団の分団長以上の職にあること 8 年以上の者
- (7) 徳行者又は善行者にして他の模範である者
- (8) その他町の発展に尽力し、特に功労顕著である者

記念表彰者 (順不同・敬称略)

区長の職にあること８年以上の者

区長 黒沢 裕幸

消防団の分団長以上の職にあること８年以上の者

小鹿野町消防団

坂本 浩文 坂本 誠一 強矢 健一 新井 忍

徳行者又は善行者にして他の模範である者

あじさい公園記念植樹会	小菅 光夫	両神山麓花とみどりを育てる会	神林 清一
上長留しだれ桜保存会	笠原 國夫	倉尾上郷健交サロン	浅香 繁
小森川蛭流会	岩崎 忠昭	奈倉美観地区推進委員会	濱田 勝己
伝統芸能の継承	柴崎 好一	尾ノ内溪谷氷柱実行委員会	北 孝行

その他町の発展に尽力し、特に功労顕著である者

前町長 福島 弘文			
元副町長 横田 俊治	元副町長 新井 竹男	元副町長 須田 修	
前副町長 長谷川 伸一			
元教育長 大久保 典雄	元教育長 岡村 寛	元教育長 中 紀雄	
前教育長 笠原 浩			

元小鹿野町議会議長

今井 太喜男 黒澤 光司 岩田 實

元小鹿野町議会議員

高橋 聡	小菅 高信	神田 武	飯塚 朝志	田島 昭泉
高橋 喜久子	山崎 京子	山中 豊彦	齋藤 維	

小鹿野町議会議員

高橋 謙治	高根 保生	笠原 義行	高橋 耕也	今井 敏夫
-------	-------	-------	-------	-------

更生保護女性会

新井 敏子	強矢 栄子	宮田 かね	山中 みさ子	山中 信子
岩崎 愛美	小指 八千代	出浦 厚子	児玉 鋭子	

保護司

原口 悟志 守屋 芳郎 猪野 操

交通指導員隊員

小澤 幸男 酒井 実 高橋 良幸 町田 博美 吉野 富夫

小鹿野町観光大使 山口 良一

小鹿野町広報大使 山口 清文

元西秩父商工会長 小菅 健夫

元小鹿野両神観光協会会長 石川 幸次

元小鹿野町観光協会会長 黒沢 光男

小鹿野町観光協会会長 入澤 民雄

小鹿野町観光大使 平山 ユージ

顧問弁護士 加藤 純二

西秩父商工会長 今井 敏夫

元小鹿野両神観光協会会長 黒沢 良作

前小鹿野町観光協会会長 北 孝行

小鹿野町 20 年の歩み

2005年～2009年



①

- 平成17年 (2005年)
- 4月 大平戸大橋が開通
 - 8月 新たな温泉掘削。国民宿舎に露天風呂
 - 10月 小鹿野町、両神村が合併し、新「小鹿野町」が誕生
初代町長に関口和夫氏就任①



②

- 平成18年 (2006年)
- 4月 防災行政無線の開局
 - 9月 新・小鹿野保育所開所
小鹿野町合併記念式典開催②
「第17回全国地芝居サミット in おがの」開催
小鹿野町の花「セツブンソウ」、木「モミジ」、
鳥「ウグイス」が決定



③

- 平成19年 (2007年)
- 4月 町立小鹿野中央病院に最新のCTを導入
 - 7月 首相官邸での「七夕短冊飾りつけ」に
小鹿野中学校3年生が招待され出席
 - 8月 夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催
 - 9月 両神山麓花の郷「ダリア園」開園③
台風9号による災害
 - 11月 医学生修学資金貸付条例を大幅に改定



④

- 平成20年 (2008年)
- 1月 小鹿野町が元気な高齢化研究のモデルケース
として埼玉県知事から指定を受ける
 - 4月 オートバイによる町おこし事業が開幕④
 - 6月 環境省選定の「平成の名水百選」に
「毘沙門水」が選ばれる
 - 10月 第21回全国消防操法大会にて、小鹿野町消防団
(第1支団第5分団)が小型ポンプの部で10位入
賞(出場数23隊)
 - 12月 「小鹿野町総合振興計画」の策定



⑤

- 平成21年 (2009年)
- 3月 子育て世代定住促進型の町営住宅「春日団地」
入居開始
 - 7月 「こども医療費助成」対象年齢を中学3年生まで
引き上げ
 - 9月 ちちぶ定住自立圏形成協定の締結
 - 10月 小鹿野町長に福島弘文氏就任⑤
町議会議員に2人の女性議員が誕生

小鹿野町 20 年の歩み

2020年～2024年

令和2年
(2020年)

- 3月 小鹿野歌舞伎さろんがオープン
- 4月 幼保連携認定こども園「おがのこども園」開園⑦
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に係る
緊急事態宣言
- 7月 クライミングパーク神悦館がオープン⑧

令和3年
(2021年)

- 1月 GIGAスクール構想により小・中学校生徒
1人1台タブレット端末導入⑨
- 5月 新型コロナウイルスワクチン集団予防接種開始
- 9月 「株式会社地域商社おがの」設立

令和4年
(2022年)

- 5月 「秩父ミュージックパーク」が第75回全国植樹祭
開催地に選定
- 9月 西秩父地域の交通死亡事故ゼロ継続 4,000 日達成

令和5年
(2023年)

- 4月 小鹿野町役場新庁舎での業務開始⑩
- 5月 電子書籍サービス「おがの電子図書館」開始
越谷市と「森林整備の実施に関する協定」を締結
- 6月 第42回埼玉県スポーツ少年団夏季小学生軟式野球交
流大会で「小鹿野カーギナルスジュニア」が優勝し、
関東大会出場
- 8月 尾上松也丈人を招いての小鹿野町民歌舞伎劇場
『盛夏彩小鹿野賑』開催⑪

令和6年
(2024年)

- 3月 道の駅両神温泉薬師の湯リニューアルオープン
- 10月 「第27回全国地芝居サミット in おがの (第52回
小鹿野町歌舞伎・郷土芸能祭)」開催⑫
国民宿舎両神荘が大規模リニューアル⑬
- 12月 小鹿野アートプロジェクトによるサーカス歌舞伎
「尾ノ内沢の龍」公演



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬

小鹿野町 20 年の歩み

～2025年



①

令和7年 2月 小鹿野歌舞伎保存会が日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産 2024」に登録

3月 長若小学校、三田川小学校、両神小学校閉校記念式典を開催①

小鹿野町ゼロカーボンシティを宣言

「第3期小鹿野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定

株式会社富士薬品と包括連携協定を締結

「木魂神社の舞台」が埼玉県指定有形民俗文化財に指定②

4月 小学校4校が統合し新しい「小鹿野小学校」開始③

5月 「第75回全国植樹祭」が秩父ミュージックパークを主会場として開催④

6月 西秩父地域の交通死亡事故ゼロ継続 5,000 日達成⑤

「(有) 秩父ワイン」のワインが埼玉県のワイナリーとして初めてフランスに輸出

9月 小鹿野町合併 20 周年記念式典開催



①



①



②



④



④



③



③



④

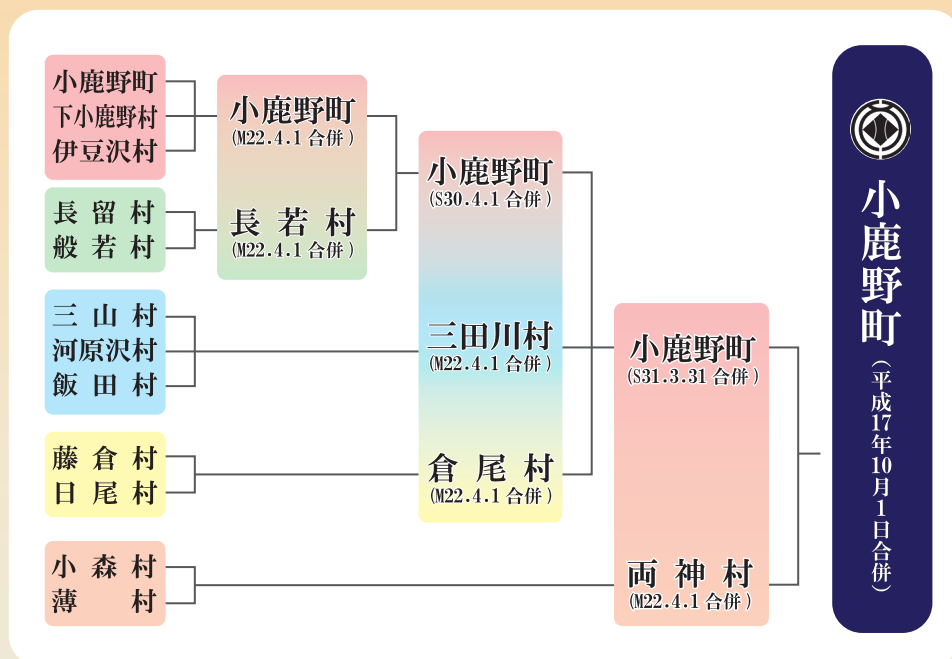


⑤



④

小鹿野町合併の推移



花と歌舞伎と名水のまち





町の花・セツブンソウ



町の木・モミジ



町の鳥・ウグイス

編集■小鹿野町総務課

368-0192 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野 89 番地

☎0494-75-1221 (代表)

FAX0494-75-2819

<https://www.town.ogano.lg.jp/>

写真協力■小鹿野町広報大使 山口 清文

